

総務消防委員会における点検評価の結果  
(委員会としての意見)

## 1 自主防災組織等の育成・支援

### [第1編 第2章 第2節 第4項 3-①]

未結成の自治会への働きかけなどにより、新たに自主防災組織が結成されており、コロナ禍の状況も踏まえて、概ね計画どおりに進められていると評価できるが、目標値は達成できていない。

自主防災組織の結成に向けた働きかけや、地域における自主防災リーダーの育成に、さらに積極的かつ計画的に取り組む必要がある。

## 2 地域防災力の向上

### [第1編 第2章 第2節 第4項 3-②]

出前講座等の取組は行われているが、地区防災計画の策定件数についての目標値と実績値には大きな開きがある。

自主防災組織の結成が前提となるが、地区防災計画策定の必要性とともに、そこに至るステップを示し、各地域・組織が段階的に防災力を強化していけるよう支援する必要がある。

## 3 市民や企業、関係部署などと連携し、戦略的にまちのブランディングを実施

### [第2編 第1節 第2項 1-①]

市民と職員との協働によるシティブランディングプロジェクトを立ち上げ、市民アンケートによる現状把握に基づいた議論が進められており、計画どおり進められているものと評価する。

今後、キャッチコピーやロゴマークを市民に浸透させ、シビックプライドの醸成を図るとともに、対外的な発信へと繋げる取組に期待する。

## 4 さまざまな発信ツールでの情報発信

### [第2編 第1節 第2項 2-①]

新たな発信ツールでの情報発信も実施した上で、メール配信サービス登録者数は大きく増加して目標値を上回るなど、効果的な情報発信が行われているものと評価する。

各ツールの特性と情報を得る側のニーズを的確にマッチさせた情報発信や、今後のさらなる調査研究に期待する。

## 5 ビッグデータを活用した効果的な情報発信

[第2編 第1節 第2項 2-②]

AIチャットボットやホームページ等に蓄積されるデータを分析・活用するなど、概ね計画的に進められているものと評価する。

どのようなデータを何に活用するかを明確にした上で、広報戦略全体を見据えた取組の推進に期待する。

## 6 時代に応じた最新技術の活用

[第2編 第2節 第3項 1-①]

AI-OCRやRPAを活用した業務改善に先進的に取り組み、作業時間短縮の効果をあげていることを評価する。

事務処理の迅速化による市民への直接的な効果のみならず、「人にしかできない仕事」への注力など、行政の効率化と市民サービスの向上が両立するよう取り組まれたい。

## 7 行政手続きの利便性向上と業務の効率化

[第2編 第2節 第3項 1-②]

マイナンバーカードを利用したオンライン申請やコンビニ交付などが実施されているほか、行政手続きのオンライン化に向けた条例等の整備に取り組まれており、概ね計画どおり進められているものと評価する。

より多くの市民に利用していただけるよう周知を図るなど、効果を高める取組も並行して進められたい。